

Probono 選挙投票管理システム

概要

不在者投票システムと当日投票受付システムより構成される。選挙事務の効率化、迅速化、正確性の向上、住民(選挙人)サービスを向上させることを目的とした、選挙投票管理システムである。選挙人名簿データの電子化と、選挙人 ID をバーコード化することにより、処理の迅速化、正確性の向上を図った事の特長とする。システム構成としては、住民情報系ホストコンピュータからデータを受ける不在者投票サーバ、各投票場の不在者投票用クライアントパソコン、およびクライアントノートパソコン、ならびにバーコードラベルプリンタで構成される。投票整理券、ならびに不在者投票用封筒に選挙人 ID(選挙人台帳のページと行ナンバー)がバーコード化されて表記されており(不在者投票用封筒にバーコードラベルを貼付け)、投票の管理が全てバーコードスキャンにより処理できる。

主なメリット

- 1) 投票時間の延長という投票環境の向上は、住民(選挙民)へのサービス向上であると同時に、処理業務の遅延など、逆にサービスの低下につながっている。その問題は、本システムの導入により、事務処理量の増加にも関わらず、従来以上の効率化が図られ、迅速な選挙集計が行われる事によって解決された。
- 2) 不在者投票は、当日投票の選挙人名簿に迅速に、且つ正確に反映されていなければならない。この問題も、バーコード化によりデータ処理が高速に行われ、電子化された名簿も瞬時に反映されるようになり、解決された。従来の選挙人名簿との照合に要した時間が、バーコードをスキャンするだけの大幅な時間短縮となり、また投票所に配置する人員の削減など、実質的な経費削減にも寄与している。